

第4回認知発達科学セミナー

不思議の国のアリス 症候群から知覚変容 体験を理解する



講演者 齋藤 五大

東北福祉大学総合福祉学部 助教
研究分野: 実験心理学

講演要旨

ときに私たちは、例外的な現象から普段は意識されない知覚の仕組みに気づくことがあります。不思議の国のアリス症候群は、その名の通り、周囲の視覚対象や自分自身の身体の高さ、距離、形などが一時的に変化して知覚される症状として知られています。本講演では、この不思議の国のアリス症候群に焦点を当て、病理として現れる知覚症状の諸相を捉えるとともに、そこから通常の自己身体がどのように表象されているかを理解する取り組みとして、事例、調査、実験研究を紹介します。

日時

2026年 10月 30日 (金) 10:40-12:10 (10:30 開場)

会場

オンライン (Zoom ミーティング)
※アーカイブ配信はありません

対象

学生、教職員、一般の方

参加方法

10月29日 (木) 18時までに二次元コード
または下記URLからお申し込みください。参加無料。

<https://forms.gle/ZJ6LNU1flfY2xUGx5>

